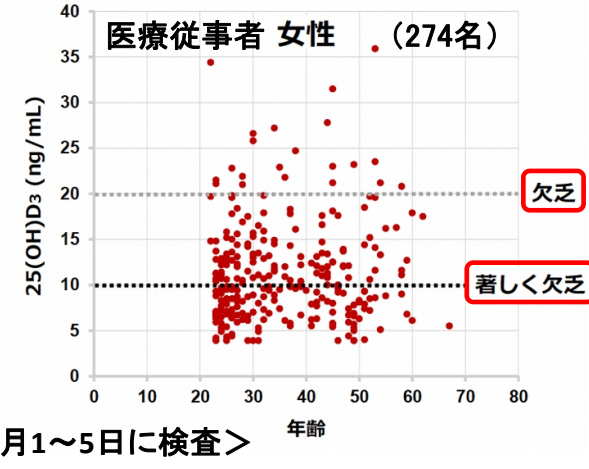
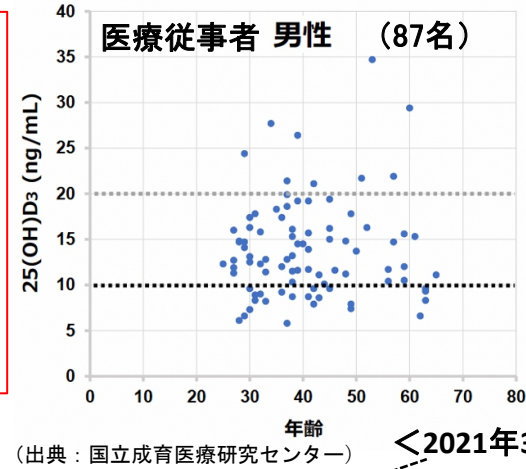
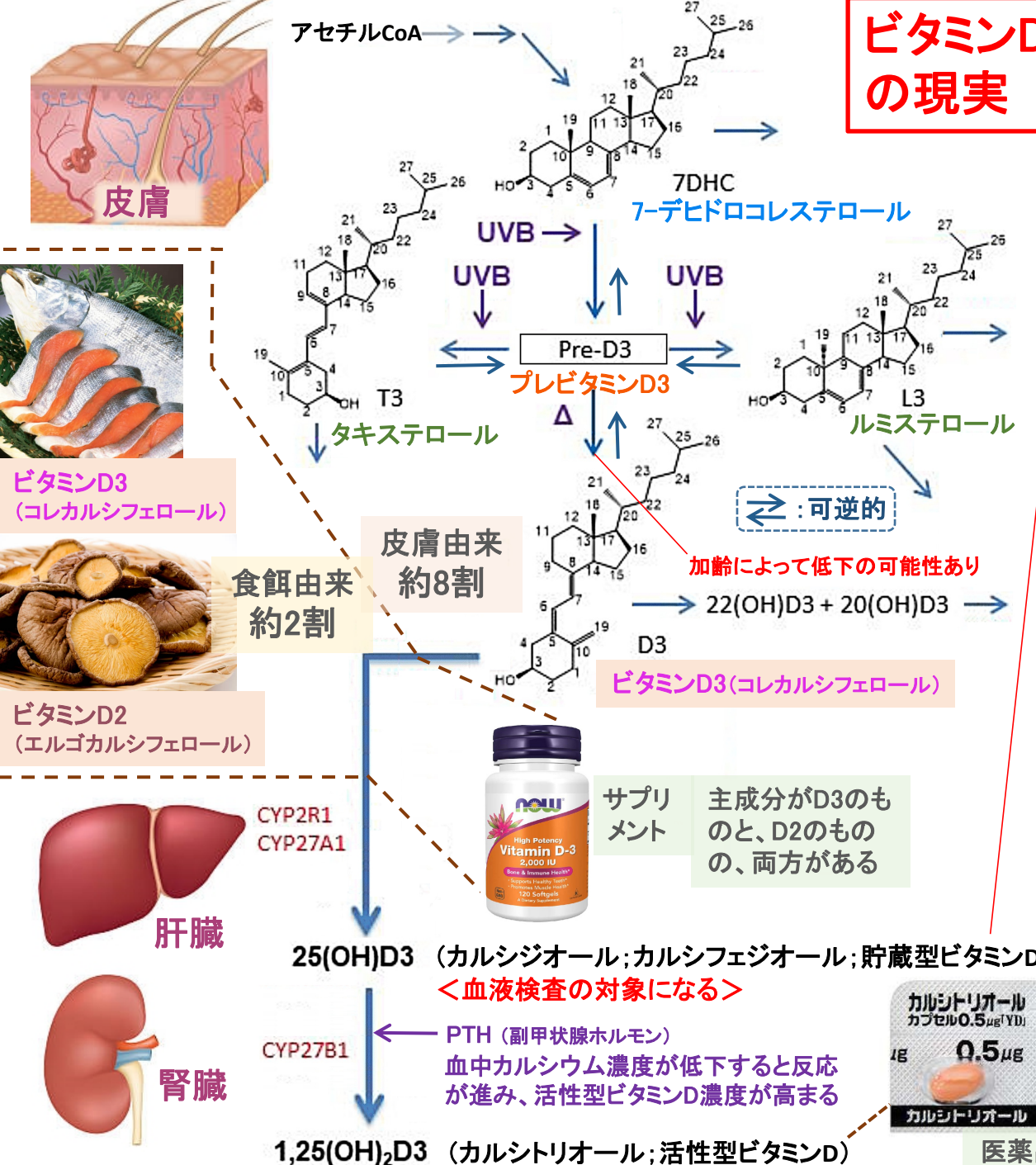
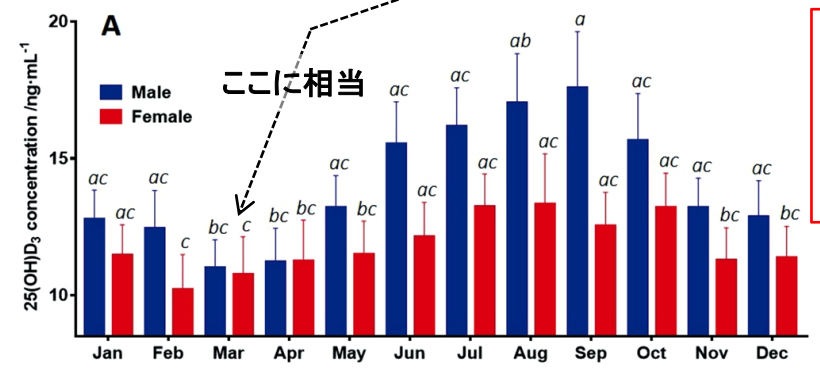


ビタミンDの現実

血中カルシジオール濃度

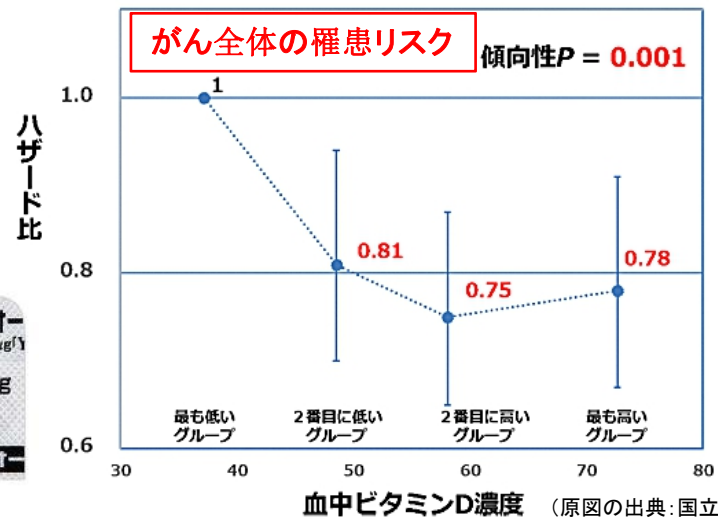


(出典: 国立成育医療研究センター) <2021年3月1~5日に検査>



血中カルシジオールの濃度は、やはり紫外線暴露量に大きく左右され、8~9月をピークにして、2~3月に向けて低下していく。

(原図の出典: Hiroaki Okabe et al., Anal Sci. 2018 Sep 10;34 (9) :1043-1047 https://doi.org/10.2116/analsci.18P193)



血中カルシジオール濃度を基準に4グループ化したとき、最も低いグループのがん罹患リスクは大幅に高まる。その他、体内のCa代謝や骨代謝に支障を来すだけでなく、感染症、歯周病、うつ病、高血圧、血栓症、心筋梗塞、脳梗塞、自己免疫疾患発症リスクなども高まる。

<作成: stnv基礎医学研究室>